

いきいき子ども！
あたたか家族！
はつらつ先生！
地域が支える
教育の板橋

教育の板橋

学び合う、
学び続ける
人づくり！
地域を創る
教育の板橋

令和6年度教育予算の概要をお知らせします

令和6年度は、区一般会計予算2,530億円の13.4%にあたる338億8,900万円の教育予算を編成しました。

“学びのまち”「教育の板橋」の実現に向けた事業を展開していきます。主な事業は以下のとおりです。

問合

教育総務課計画係 ☎3579-2639

■部活動地域移行・地域連携推進事業 1億1,439万円

令和5年度から、中学校の部活動に替わる新しい活動の場として立ち上げた「いたばし地域クラブ」の3クラブ(女子サッカー、eスポーツ、ロボット数学)に、新たに「サイエンスクラブ」を追加することや、中学校の部活動改革について、区民の皆様との共通理解を深めるためのシンポジウムを開催します。

また、教員に替わり、区立中学校で部活動の指導を行っている部活動指導員の配置を、3名から44名に拡大します。

■小学校における図書館司書配置拡充のモデル事業 682万円

小学校の図書館に週1日配置している司書を、学級数が多い等の10校について週2日配置し、児童の読書活動の活発化をめざすモデル事業を行います。

■幼稚園における多様な他者との関わりの機会の創出事業 1億2,260万円

保護者の就労状況に関わらず、未就園の児童に対する定期的な預かりを、区立・私立幼稚園で行います。早期に他者と関わること

で、コミュニケーション能力などの非認知能力の向上を図り、児童のよりよい成長につなげます。

■いたばしインクルーシブ教育システムの充実 730万円

児童生徒が、障がいの有無にかかわらず、できるだけ同じ場でともに学べる機会を保障するために、特別支援アドバイザーの派遣、新たな知能検査機器の導入や専門家相談の拡充により、いたばしインクルーシブ教育システムを確立し、個別最適な学びの実現をめざします。

■小・中学校の増改築・改修等 61億5,065万円

志村小学校と志村第四中学校の小中一貫型学校及び上板橋第一中学校の改築にかかる実施設計を完了し、工事に着手します。(新しい取組については下記記事参照)

また、板橋第四小学校の増築にかかる設計や板橋第六小学校の改築に向けた基本構想・計画策定を進めます。

学校の長寿命化改修では、志村第六小学校の工事が完了する予定のほか、赤塚小学校、

志村第四小学校、板橋第八小学校の設計、板橋第二小学校の基本構想・計画策定を進めます。

また、小学校14校、中学校7校の照明設備のLED化改修工事、小学校7校、中学校2校のバリアフリー化工事を行います。

■いたばし未来子ども大学の開校 33万円

小学校4年生から6年生を対象に、区内大学等の協力を得て、大学教授や専門家による講義や体験学習を実施します。学びの場を大学の校舎等に移し、大学の講義や板橋区の歴史、スポーツ選手からの指導、SDGsに関すること、ものづくりなど、幅広い分野における新たな学びの機会を提供します。

■板橋区電子図書館における電子書籍の充実 1,622万円

令和4年11月より提供している電子図書館サービスの電子書籍の蔵書を増やすことにより、利用する方の多様なニーズに対応します。また、児童書パッケージの導入により児童生徒が本にふれるきっかけをつくることで、読書活動を推進します。

新しい学校づくりを進めています！

問合

新しい学校づくり課学校配置調整第一係 ☎3579-2624

①小中一貫型学校

義務教育9年間の学びをつなぐため、区立中学校を核として周辺の小学校をグループ化した「学びのエリア」を作り、エリア内における教員や児童生徒の交流などの小中一貫教育を進めています。そして、小中一貫教育をより一層進めるための取組として、小中一貫型学校の整備を進めています。

小中一貫型学校に期待される効果の一例

異学年交流によるメリット

・学校行事や交流授業における異学年交流により、上級生は下級生に対してお手本になろうとする意識が高まり、下級生は上級生に対する憧れが強まるとともに、今後の学校生活に見通しをもち、教育活動につながりができることが期待される。

教員の意識改革

・小中学校の教員が日常的にコミュニケーションを図ることで、小中一貫教育の意義や目的を共通理解し、小学校・中学校の教育に対して相互理解を深め、自分の学習指導や生活指導に取り入れることが期待される。

区内初の小中一貫型学校開校予定
(志村小学校・志村第四中学校)

志村小・志四中の詳細はこちら



②教科センター方式(中学校)

授業を専用教室(教科教室)で行います。また、教科教室に加えて多目的スペースや教材室などを組み合わせた教科ごとのエリア(教科センター)を構成します。生徒はホームベースとホームベースに隣り合わせのクラスルーム(教科教室と併用)を活動拠点とし、必要な学習用具を持って各教科教室に移動して授業を受けます。



導入校：赤二中、中台中、上二中、志村小・志四中(予定)、上一中(予定)

③フリーアドレス型職員室

教員は自分の席を自由に選択できます。それにより、日常的に教員同士のコミュニケーションが多様化するほか、常に座席が整理整頓され、業務の効率化も期待できます。



導入校：板十小、上二中、志村小・志四中(予定)、上一中(予定)

④オープンな図書館(メディアセンター)

学校の中心で、子どもたちが多く行き来するオープンなスペースに本棚を設置し、子どもたちが本に触れやすく、目に触れやすくすることで、子どもたちが自ら学ぶ環境の充実を図っています。



導入校：上二中、志村小・志四中(予定)、上一中(予定)

②③④の導入校である、上板橋第二中学校が「優良学校施設部門賞」を受賞しました！ 詳細は、こちら⇒



GIGAスクール構想の実現をめざした授業

～区立学校の児童生徒に整備した1人1台パソコン(Chromebook)などを活用した授業を紹介します～

問 合

教育支援センター教育支援係 ☎3579-2176

高島第五小学校 第1学年 国語科「ことばをあつめよう」

授業概要

- 「雪だるま」や「寒い」など冬に関する身近な言葉を集め、かるたの文づくりをする活動を通して、「名詞」や「動詞」など、語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにする。
- 今回の授業では、ムーブノートを使い、前の授業で出された言葉に追加できる言葉がないか話し合ったり、色分けされた言葉を当てはめて、かるたの文を作ったりして発表した。

使用したアプリ・機材

★アプリケーション

①ムーブノート

★機材

①Chromebook ②電子黒板

ムーブノートとは、個人の意見を、クラスみんなと共有できる協働学習支援ツールです。

本時の授業のめあて「あつめたことばをつなげてふゆのかるたをつくろう」

1 2人組で考える

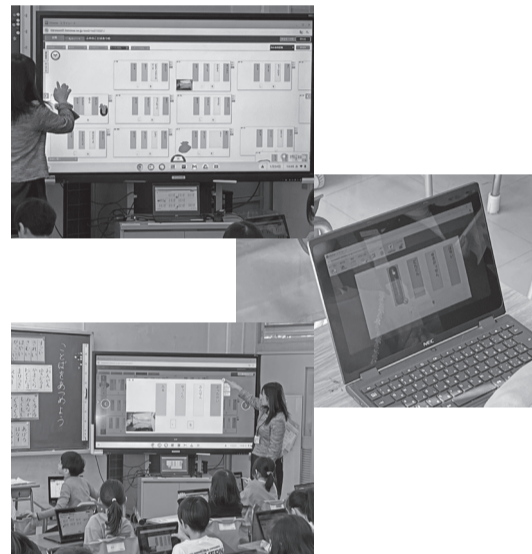
前時の授業で集めた冬に関する身近な言葉を振り返り、2人組になり追加できる言葉がないか話し合いました。また、集めた言葉(名詞(食べ物、遊ぶものなど)、動詞、形容詞など)を分類し、ムーブノートで色分けしたものを電子黒板で映し出してクラス全体で共有しました。

2 かるたを作る

ムーブノートで色分けされた言葉を使って、冬の言葉をつないだかるた作りを行い、提出されたかるたを先生がいくつか電子黒板に映し出し、互いの考えを共有しました。

3 振り返り

言葉集めとかるた作りについての意見や感想を個人でまとめたあと、ムーブノートで共有し、感想ごとに色分けしました。文章を組み立てることが苦手な児童にとっても言葉を色分けすることで、考える手立てとなり、学習に取り組むことができました。



志村第二小学校 第6学年 算数・総合的な学習の時間

授業概要

- 比例や反比例の関係にある2つの数量の関係を理解し、目的のグラフを書くには、どのようなプログラムをつくれればよいかを考えることを目標とする。
- 今回の授業では、スクラッチの基本操作を確認してから、比例や反比例のグラフを書くためのプログラムを作った。また、振り返りではグラフを書くときのプログラミングの良さをムーブノートで共有した。

使用したアプリ・機材

★アプリケーション

①スクラッチ ②ムーブノート

★機材

①Chromebook ②電子黒板

スクラッチは、指示の書かれているブロックを組み合わせるだけでアニメーションなどの簡単なプログラミングが作成できるツールです。

本時の授業のめあて「プログラムを使ってグラフを書くときの良さがあるか見つけて伝え合おう」

1 操作方法を確認する

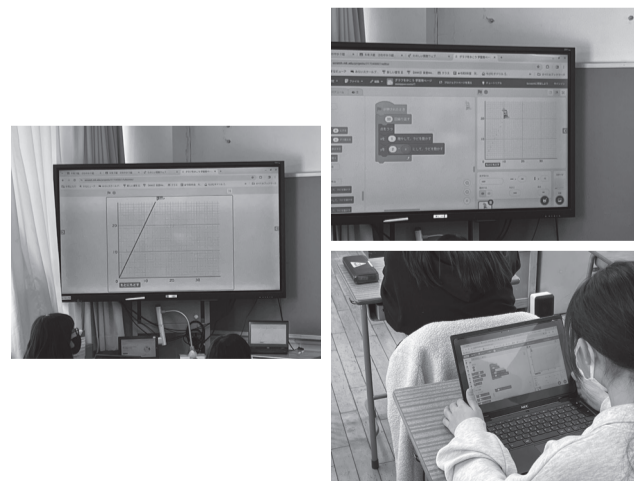
授業の初めに、スクラッチの操作方法を確認しました。

2 プログラムを考える

$y = 2x$ のグラフを書くプログラミングを考えて作りました。 y を2増やして打点するプログラムを使い、点をつなげることで比例のグラフを作りました。また、プログラムを作り変えて、いろいろなグラフを書いてみました。

3 振り返り

ムーブノートにグラフを書く時にプログラムによって簡単に点を大量に打つことができたり、滑らかな曲線のグラフを書くことができたことなどのプログラミングの良さをまとめ、電子黒板に共有しました。



※Scratchは、MITメディア・ラボのライフロング・キンダーガーデン・グループの協力により、Scratch財団が進めているプロジェクトです。<https://scratch.mit.edu>で無料で利用することができます。

身近な教育委員会を開催しました! 問合せ 教育総務課庶務係 ☎3579-2603

区教育委員会では区民のみなさまとの意見交換の場として、「身近な教育委員会」を開催しています。令和5年度第3回を2月2日(金)に開催し、33名の方々にご参加いただきました。

第1部では「全国学力・学習状況調査から見える「子どもたちに身に付けさせたい力」をテーマとし報告をしました。

第2部では保護者やiCSなどの様々な立場のみなさまと、グループディスカッションを実施し、「学力」「授業」「家庭学習」等について思っていること」をテーマに熟議を行い、どのグループでも活発な意見交換ができていました。その一部をご紹介します。

各グループで出された意見

- 知識はネットにあるので、詰め込む必要はそこまでないのではないか。アウトプットがより重要になると思う。
- 家庭学習が主に塾の宿題になってしまっているため、本物に触れる学習を大切にしたい。
- 学校で行っていること、家庭でやってほしいことを学校が発信してくれると両輪でできるのではないかと。
- 算数、数学で習熟度別授業が展開されているなど、授業が工夫されていると感じる一方、未だにドリル学習をしており、必要性に疑問を感じる。
- 今の子どもたちはスマートフォンやタブレットで断片的に偏った情報を収集しており、得た情報を疑わなくなっている。また、じっくり本を読むことをしていないのではないかと。

熟議の後には、所感として教育長からこのような話がありました。(一部抜粋)

最近教育の場で、今も将来も、身体的、精神的、社会的に幸せの状態であること、という意味の「ウェルビーイング」という言葉が使われ始めています。学校は子どもたちのウェルビーイングを実現する場所にしなければなりません。そのため板橋区では、「自分の頭で考えられる人になろう」というところを一つの目標に掲げ、「板橋区授

業スタンダード」という授業モデルの徹底を図っています。

学校では必ず学びがあることが大切で、自己解決するプロセスを体験することで、子どもたちにとって学びが意味のある時間になります。これからは自分で学ばなければならないし、解決しなければならないとなります。また自分のペースでやることと同じくらい、人と協力してやることや、自分の苦手なところを誰かに補ってもらったり、助けてと言うことを大事にしていきたい。社会で生きていく上ではこれらができないと生きていけないのではないのでしょうか。そのためにも、板橋区授業スタンダードに沿った授業革新を先生方をお願いしているところです。質の高い授業をするためには、先生方が学ぶ時間が必要となります。しかしながら、ご存じのように先生方はすることがたくさんあり、勤務時間中にじっくり授業準備時間をとれないのが現実です。

学力向上のためには授業の質を高めることが不可欠です。そのためにも先生方が授業革新のための時間をしっかり確保できる環境づくりが教育委員会の役割であると思っています。そのことを是非ともみなさまにはご理解いただき、ご協力いただければ幸いと存じます。

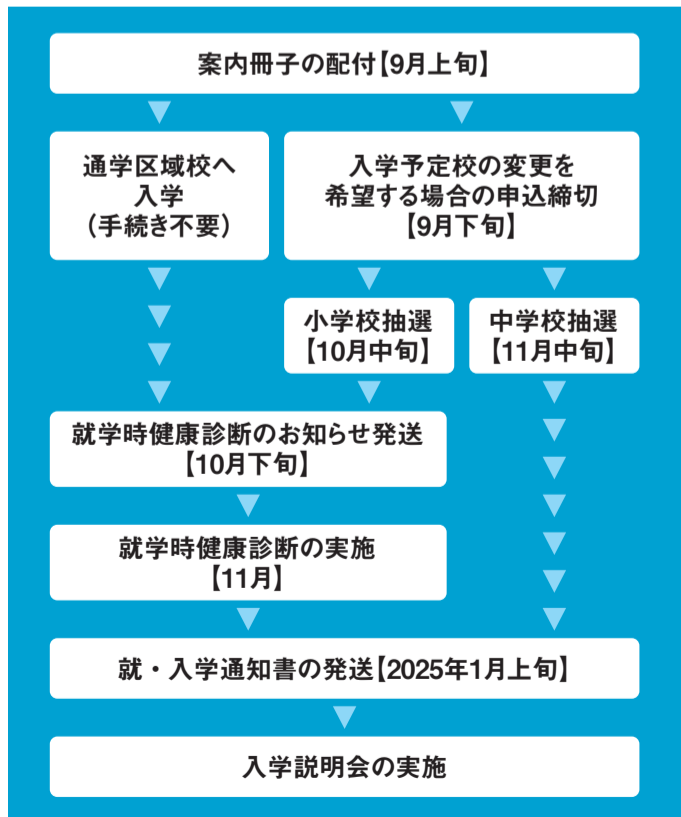
お忙しい中、ご参加いただいたみなさまに感謝申し上げます。なお、次回の身近な教育委員会は5月27日(月)に開催を予定しています。詳しくは教育チャンネル5月号をご覧ください。



来年度の入学のスケジュール

区教育委員会では、住所ごとに入学する学校が指定される通学区域を定め、通学区域の学校を入学予定校としてお知らせします。通学区域の学校へ入学する場合は、手続きなしで優先して入学できます。

理由があって、通学区域外の学校へ入学を希望する場合は、手続きが必要です。希望できる学校の範囲や申請方法については、9月上旬に配付する案内冊子をご覧ください。



令和6年度 特別支援学校 学校公開予定日一覧

学校名	日程(予定)	電話	その他
都立葛飾盲学校	6月3日(月)~6月7日(金)、9月10日(火)~9月13日(金) ◆受付時間: 9時30分~	3604-6435	申込方法や日程は、HPでご確認ください。予約制による教育相談を行います。
都立大塚ろう学校(大塚本校)	7月6日(土)、2月18日(火) ◆受付時間: 未定	3918-3347	入学・転学を考えているご家庭が対象です。申込方法や詳細は、HPでご確認ください。就学前のお子さんの相談は随時受け付けています。
都立葛飾ろう学校	6月15日(土)、9月21日(土) ◆受付時間: 未定	TEL 3606-0121 FAX 5697-0275	詳細は決定次第HPに掲載します。
都立北特別支援学校	5月31日(金)、10月23日(水) ◆受付時間: 未定 (HPでご確認ください)	3906-2321	申込方法などはHPでご確認ください。就学前のお子さんの見学・相談には、個別に対応しています。
都立志村学園	就業技術科 ・学科説明会(年間20回) 以下の説明会も予定しています。 ・教員向け説明会 ・専門教科体験 ・部活動体験 ・部活動見学	3931-2323 070-6448-3168 (相談支援部直通)	日程等の詳細は、5月上旬までにHPに掲載します。
都立高島特別支援学校	5月28日(火)、7月8日(月)、9月13日(金)、10月30日(水)、3月6日(木) ◆日程: 9時40分~11時40分 ◆受付時間: 全日9時20分~	3938-0415	申込方法や詳細は、HPでご確認ください。9時15分までは児童生徒の登校時間と重なり玄関が混み合いますので、その時刻以降のご来校をお願いいたします。
都立板橋特別支援学校	6月11日(火)、11月13日(水) ◆受付時間: 未定	5398-1221	時間帯の詳細は、実施日1ヶ月前頃にHPにてお知らせします。
筑波大学附属桐が丘特別支援学校	5月21日(火)、6月11日(火)、7月9日(火)、9月10日(火) ◆受付時間: 全日10時20分~	3958-0181	小学部入学希望者体験授業: 10月8日(火) 中学部入学希望者授業見学: 10月4日(金) 高等部入学希望者授業見学: 10月11日(金)

※詳細につきましては、各特別支援学校へお問合せください。なお、日程については、変更になる場合があります。

問合せ 学務課学事係 ☎3579-2611

問合せ 各特別支援学校へ直接お問い合わせ

教育広報への意見を募集します

より良い広報紙作成のため、みなさんからのご意見・ご提案を募集します。

▽提出方法=郵送・FAX・Eメール ▽問合せ=教育総務課庶務係(〒173-8501) ☎3579-2603 ☎3579-4214 ✉kyosho@city.itabashi.tokyo.jp

中高生勉強会「学びi(あい)プレイス」 ～新たに土曜日も開催します!～

中高生勉強会「学びi(あい)プレイス」(通称「まなプレ」)は、区内在住または在学の中学生・高校生のみなさんが気軽に無料で参加できる勉強会です。高校生相当年齢(概ね15歳から18歳まで)の方は、現在、高校に在学していない方も参加できます。

大学生や社会人のボランティアの方々が優しく勉強のサポートをしてくれます。大学や仕事のことなど、進路の参考になるお話ができる場にもなっています。

■会場や曜日を選ぶことができます

区内6つの会場で開催します。火曜日から土曜日まで、各会場ごとに曜日や時間を決め、令和7年3月8日まで開催する予定です。お住まいの地域や学校にかかわらず、都合のよい会場や曜日を選ん

でいただき、いつからでも参加できます。複数の会場での参加も可能です。

会場や開催日時などの詳細は、区ホームページでご確認ください。

■事前申込は不要です

参加希望の方は、選んだ会場の「まなプレ」開催中に、勉強したい教材や筆記用具を持って直接お越しください。初回はスタッフが話を伺い、参加申込書に必要な事項を記入していただきます。※各回とも概ね20人の定員です。その日の状況によっては参加できないこともあります。

■一人ひとりのペースで勉強できます

一人ひとりの希望する学習内容や進度に合わせてサポートします。「まなプレ」を活用して、楽しく勉強しましょう。

問 合

生涯学習課社会教育推進係 ☎3579-2633



第23回櫻井徳太郎賞作文・論文を募集します

～地域の歴史や文化について調べて応募してみませんか～

部門	文字数・内容など	申込締切
小・中学生の部	【文字数】1,200～2,800字(※小学生は800字から応募可) 【内容】地域の歴史や文化、生活、身近にあるものについて、調べたことや考察をまとめた作文。	9月9日(月) 消印有効
高校生の部	【文字数】4,000～16,000字以内 【研究形態】個人研究または共同研究(※共同研究は800字程度の論文要旨を添付) 【内容】地域の歴史・民俗学的なテーマで調査・研究し、考察したことをまとめた論文。	9月24日(火) 消印有効
一般の部 (大学生・大学院生を含む)	【文字数】2万字～3万字以内、論文要旨800字程度 【内容】日本、東アジア地域の民俗学・歴史学・考古学等の視点や手法で調査・研究した未発表論文。	

【共通事項】

●自筆・Word等で作成、縦書き・横書き任意。

●表紙に、タイトル・住所・氏名・電話番号・年齢または学年を明記。

【注意】

- (1) いずれの部も二重投稿は不可。
- (2) いずれの部においても、応募者自身が執筆した未発表のものに限る。AI(人工知能)により生成、利用した作品は応募不可。
- (3) 作品の審査前後にかかわらず、盗作、不適切な引用等があった場合は審査対象外。

【申込】

直接持参、郵送(簡易書留・レターパック)

板橋区教育委員会事務局生涯学習課文化財係

〒173-8501 東京都板橋区板橋2-66-1 板橋区役所北館6階⑮窓口

※そのほか詳しい応募内容、注意事項、過去の受賞作品は、区ホームページからご確認ください。



問 合

生涯学習課文化財係 ☎3579-2636

「第30回いたばし国際絵本翻訳大賞」 中学生部門の入賞者が決定しました

区教育委員会では、外国文化に触れ国際理解を育むために、英語とイタリア語の絵本を日本語に翻訳するコンテスト「いたばし国際絵本翻訳大賞」を行っています。今回で第30回の開催となり、今回も全国からご応募をいただきました。第7回からは中学生部門(英語)も加えられ、今回は区内の中学校に在籍する生徒475名が参加しました。(学年は受賞時のものです)

最優秀賞	橋本 昊 さん(上板橋第三中学校、8年生)
優秀翻訳賞	眞鍋 明季 さん(志村第一中学校、8年生)
	三浦 恵菜 さん(上板橋第三中学校、8年生)
	人見 柊 さん(上板橋第三中学校、9年生)
	浅葉 くるみ さん(上板橋第三中学校、7年生)
	山本 美 さん、樋口 友渚 さん、阿部 知咲 さん、小畑 友里奈 さん(グループ応募、東京家政大学附属女子中学校1年生と2年生)

問 合

中央図書館ポロニーヤ絵本係 ☎6281-0560

板橋区立学校等緊急連絡・ お知らせ配信システムの登録について

区教育委員会では、緊急時の連絡の迅速性を確保、緊急時以外の教育委員会事務局・学校から保護者への連絡を円滑にするため、「板橋区立学校等緊急連絡・お知らせ配信システム」を運営しています。区立学校(園)の管理者や教育委員会から、緊急情報等を登録した保護者の皆様へ配信しています。

▼登録対象者は、小学校・中学校・幼稚園に通う児童、生徒、園児の保護者及びその関係者とします。

※詳しくは各学校・園から配布される今年度の『学校等緊急連絡・お知らせ配信システム登録手順書』をご覧ください。

※システムへの登録は毎年度必要になります。お手数ですがご登録をよろしくお願いいたします。



問 合

教育総務課庶務係 ☎3579-2603

※板橋区では小中一貫教育を推進しているため、区立中学の学年を7～9年生と表記しています。

教育に関する
広報紙

教育広報「教育の板橋」は1・4・9月に発行しております。また、奇数月には、「いたばし教育チャンネル」を発行し、教育委員会が行っている事業等について情報発信しております。区ホームページをご覧ください。

教育広報



いたばし
教育チャンネル



▽問合＝教育総務課庶務係
☎3579-2603